



ならし社協だより

第20号

APRIL 2014

平成26年4月1日発行



花のもと、春の
陽差しを楽しむ
(月ヶ瀬デイサービス)

目次 (ページ)

- 02 地区社協ブロック別情報交換会から見てきたもの
- 03 市民後見人養成講座
ふれあい宣言タイムマラソン大会
- 04 あなたのまちの地域福祉活動 『富雄地区社会福祉協議会』
- 05 福祉ホットライン 『喫茶シャローム』
創立 50 周年記念式典 (大宮地区社会福祉協議会)
新成人の集い (奈良市心身障害者・児福祉協会連合会)
- 06 ちょっと知りたい ～生活困窮者自立支援法～
- 07 ボランティア保険のご案内
- 08 共同募金運動の報告
社協の取り組みがドラマに ～NHK「サイレント・プア」～
社協会員募集

地区社協ブロック別情報交換会から見えてきたもの

本会では、地域福祉活動に取り組む地区社会福祉協議会相互の連携づくりと福祉課題の共有を目的に、地域特性に応じて市内を5ブロックに分けて「地区社協ブロック別情報交換会」を開催しました。(下図参照)

テーマ 我が地区の福祉活動の現状と課題

地区名	日時	話題や課題に上がった内容(アンケート結果より)	
		課題	今後への検討事項
辰市・明治・東市・帯解・精華・都跡・六条・伏見南・伏見・西大寺北・あやめ池	9/4 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者の支援 自主防犯防災の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動における個人情報取り扱い 普段の暮らしの中で少し気になる人への関わり方
神功・右京・朱雀・左京・佐保台・平城西・平城・鼓阪・佐保	9/25 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動の財源 地域と繋がりがいない人への見守り活動 	<ul style="list-style-type: none"> 共同募金の取り組み強化 地域福祉活動を進めたいための組織基盤強化
大宮・佐保川・椿井・大安寺西・済美・済美南・大安寺・飛鳥	11/29 (金)	<ul style="list-style-type: none"> 認知症を抱える高齢者の地域生活の理解不足 社会的に孤立する人の生活背景の理解不足 	<ul style="list-style-type: none"> 暮らしを支える助けあいの仕組みづくり 周囲の関わりや福祉サービスの利用を拒否する人への支援
鶴舞・青和・二名・富雄・東登美ヶ丘・登美ヶ丘・鳥見・奈良帝塚山・学園三碓・富雄南・学園南	12/10 (火)	<ul style="list-style-type: none"> 社会的に孤立する人の生活不安 地域福祉活動の財源と活動者の育成・確保 外出が困難な方の社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 孤立予防のための見守りの仕組みづくり(民間の力を巻き込む) 新たな福祉活動の人材づくりの検討 サロンや生きがいとしての買い物に行けない人についての移動支援
都祁・月ヶ瀬・田原・柳生・大柳生・狭川・東里	12/13 (金)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のつながりや居場所づくり 通院や買い物等の移動困難な人の生活 	<ul style="list-style-type: none"> サロン活動の実施 移送サービスや外出支援の広域的な事業展開

地区社協が向き合う福祉活動とは

今日、私たちの住む奈良市では、地域のつながり、近隣の人々との関係の希薄化が大きな課題になっています。地区社協では、『誰もが安心して暮らせる地域づくり』のために様々な福祉活動が展開されています。しかしながら、生活ニーズが多様化・複雑化する中、これまでの住民相互の支え合いでは解決できない様々な福祉課題が発生し、その状況も地域の特性によって異なっていました。(※左図参照) 情報交換会では、地区の課題を発見し支え合うためには何が必要か、また住民だけで支援することが難しいことはどうしたらよいかなど、活発な意見が出されました。



近隣の地区が集まり地域の現状と課題を話し合います



ホワイトボードを使って意見を整理していきます

“協働”を生み出すエリア対応の強化に取り組めます

情報交換会を通じて、地域の現状や課題は地域特性によってそれぞれに違い、人材育成や財源の問題、個人情報の取り扱い、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の理解など、課題解決にむけた検討事項もブロックそれぞれに特徴があることがわかりました。また、現在の地域が抱える様々な課題は、その大きさや取り組みの難しさからどうしても後回しになってしまい、生活課題を解決する仕組みづくりは一つの地区だけでは取り組むことが難しい現状が浮き彫りになりました。

これら地区社協が直面している課題に、しっかりと向き合うことのできる支援体制の構築が急務であることをふまえて、奈良市社協では近隣の地区社協が共通に抱える課題の解決にむけたエリア支援体制の強化をさらにすすめるとともに、地区社協だけでなく福祉事業者やNPOを含め、地域に密着した連携・協働の場づくりに取り組んでいきます。

市民後見人養成講座

市民の力で地域の困っている人を支える新たな仕組み!!

平成26年2月～3月、基礎研修を開講しました！ 場所：はぐくみセンター



認知症・知的障がい・精神障がいなどによって判断能力が不十分な方の権利を護るため、成年後見人の需要は年々高まっています。

本会では、奈良市の委託を受け、平成25年度市民後見人養成講座(基礎研修)を開講しました。事前説明会には、福祉関係者のみならず、社会に貢献をしたいという一般の方からの応募も多数寄せられました。結果、事前説明会には100名を超える方にお越しいただき、市民後見制度への関心の高さがうかがえました。



講義は成年後見制度をはじめ、高齢者・障がい者などの対象者理解、介護保険・生活保護・健康保険などの制度、財産・家族に関する法律まで幅広い分野に及び、受講者それぞれ高いところざしを持って講義に取り組んでおられました。

修了された方は、平成26年度に開催予定の応用研修と、一定期間の実務研修を受けた後に、市民後見人として活動していただく予定です。活動については随時ご紹介いたします。

市民後見人とは

市民が行う成年後見人の事です。家庭裁判所から選任された市民が、認知症・知的障がい・精神障がい等により判断能力が不十分な方に代わって財産管理や介護サービスなどの契約を行います。社会貢献型後見人として注目されています。

問合せ先

奈良市社会福祉協議会 生活支援課 福祉サービス支援室 ☎ 0742-30-2525 FAX 0742-30-2323

ふれあい宣言タイムマラソン大会

自分で決めたタイムを目指して走る!!

日時：平成26年1月19日(日) 10:10～13:00

場所：総合福祉センター周辺道路

コース：ショートコース1.5km、ミドルコース2.7km、ロングコース5.2km

当日参加者数：487名(うちボランティア102名)

この大会は、障がい者相互の交流をはじめ、障がい者と健常者のふれあいの輪を広げ、健康の増進を図ることを目的として開催しています。

● 特徴あるマラソンのルール

このマラソン大会は、申し込みの時に各自がゴールするタイムを宣言し、実際に走ったタイムとの差が小さい人が上位に入賞となります。速さを競うものではないので、障がいの有無・年齢等に関わらず同じ立場で競うことが出来る珍しい大会です。もちろん時計などの時間を計測できるものを身につけて走ることはできません。今大会の結果はタイム差が一番小さい人は0秒、逆に大きい人で38分57秒でした。



● ボランティアも大活躍

選手受付や競技中の安全確保、ゴールでのタイム記録など、いろいろな場面でボランティアの方々にご活躍いただきました。また、マラソン後の選手へ雑煮の振る舞いがあり、その調理でもご協力をいただいています。



● 団体・企業の協賛による豪華賞品!

入賞者へのメダル・賞品等の購入は「国際ソント 奈良ソントクラブ」様のご寄附により賄われています。また「奈良ヤクルト販売(株)」様及び「ダイドービバレッジサービス(株)」様からスポーツドリンクが振舞われています。



当日は、雪がチラチラ舞ったりする寒い中での開催でしたが、寒さを吹き飛ばすかのようにみなさん完走されました。

普段から走っている方やこれから走ってみようと思っている方、車いすや徒歩での参加も可能ですので、少しでも興味を持っていただいた方は、次回ぜひチャレンジしてみてください。大会をお手伝いくださるボランティアも大募集しています!

● 問合せ先

奈良市総合福祉センター体育館 ☎ 0742-71-0775 FAX0742-71-0773

あなたのまちの地域福祉活動

今回は、地域福祉活動の「人材不足」という課題解決に取り組む地区社協の活動を紹介します。

富雄地区社会福祉協議会

人口が急増している富雄地区では、顔の見える地域づくりをめざし、地域の福祉活動を進める人材づくりを喫緊の課題として位置付けています。西部ブロック別情報交換に参加した柴尾会長、民生委員の岡本さん、ボランティアの河原さんにお話を伺いました。



ブロック別情報交換会に参加しての感想をお聞きます。(※ブロック別情報交換会については、2ページをご参照下さい。)

柴尾 西部の同じような地域の取り組みを聞いて刺激になりました。富雄地区社協が抱える活動者の人材不足の問題が他の地域にもあることを知ることができました。自分達だけではなかったのだと…。

河原 同じ地域福祉の活動者が、テーマ毎に入れ替わり話をするのは新鮮でした。

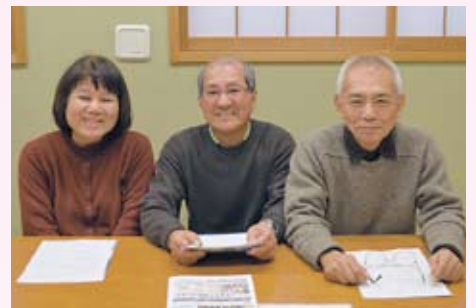
岡本 私どもの富雄地区では、地区社協の在り方や役割が不明確になっているのかもしれませんが。同じ地域の中で、自治連合会や民生児童委員協議会、その他の団体があり、今まで地区社協が何をやるのか、何を担うのか!というイメージが明確化できていませんでした。地区社協は、地域の中でこんな役割を担うのだ!というメッセージを発信していく必要があります。

いま、富雄地区社協はどんな福祉課題に向き合っていますか?

河原 一人住まいのお年寄りで体の不自由な人は、ゴミ出しが出来ないことや、坂道が多く商店やスーパーが川沿いに集中しているため、買い物に不便さを感じている人もいます。

岡本 生活のあらゆる面で不都合が出ており、近隣での目配りや気配りが重要になっていますが、気になっていても動かない人が多い。普段の付き合いがないと声をかけるのも気が引けるため、動きたくても動けない人もいます。そんな人が、地域で困っている人を助けようと思った時に動き出せるきっかけを作ることが必要だと思っています。

柴尾 そういった意味では、今取り組もうとしている「福祉委員制度」と「サポーターズクラブ」は重要な意味を持つと考えています。



▲ 左から、ボランティアの河原さん、柴尾会長、民生委員の岡本さん。

「福祉委員制度」と「サポーターズクラブ」を詳しく教えてください。

柴尾 福祉委員は、地域活動の担い手として位置付け、数年前から各自治会より毎年選出してもらい研修を継続していましたが、何をやるのか具体的な役割を見いだせませんでした。

平成 26 年度から、福祉委員は「自治会や身近な地域でのサロン活動や助け合い活動の担い手」と明確な役割と方針を打ち出して、活性化していきたいと考えています。

河原 現在、地区全体で「お茶しませんか」という集いの場をつくっています。しかし、遠くてその場所に参加できない人もいるでしょう。自治会単位等、身近な地域で拡がれば…。

岡本 サポーターズクラブは、福祉委員のように主体的に活動出来ないが、必要な事があれば協力しますというような、地域活動(地域行事・学校行事)の活動者の人材バンクとして考えています。出来ること、したいことに特化して地区住民が自分の状況に合わせて色々な形で、地域活動に関われるきっかけを作っていきたいと思います。



▲ 富雄地区社協主催の「お茶しませんか」ボランティアの気配りを感じます。

最後に、奈良市社会福祉協議会への期待を一言。

柴尾 今まで市行政も市社協も遠い存在だったが、西部エリア担当として鳥見の「ふらっと」ができて気軽に行き来し相談できるようになりました。市社協のスタッフが関わってくれるようになり根本的に変わったと感じています。地区住民の力だけでは、解決できない難しい問題も多い。今後は市社協と地区社協が力を合わせて活動を進めていきたいと考えています。

(聞き手 後藤文造 (奈良市社協西部地域支援担当))

福祉ホットライン

このコーナーでは、奈良を住みよいまちにするために日々活動する団体等を紹介しています。今回は、企業や福祉施設で働く障がい者が仕事帰りに気軽に集える場所として活動されている「喫茶シャローム」を紹介します。



「喫茶シャローム」とは？～シャロームで会いましょう～

平成9年に奈良カトリック教会で始まった「喫茶シャローム」は、障がい者の仲間づくりの場や仕事帰りの息抜きの場として活動されています。当初の参加者はおもちゃライブラリー^(※)に通っていた方がほとんどでしたが、現在ではそれ以外にも多く参加されるようになってきました。

この活動に転機が訪れたのが平成25年。奈良カトリック教会から総合福祉センターへと新たに会場が変わったことです。参加者からは、設備がバリアフリーであることなど以前に比べて使いやすくなったという声がある一方で、交通アクセスの関係で、来られなくなったメンバーも少なくないことが課題にもなっています。ボランティアや関係者の協力を得ながら、新たなスタイルの喫茶シャロームが動き出しています。ボランティアスタッフの齋藤さんは「喫茶シャロームを、障がい者が自分たちで運営していける場にしていきたいと思っています。そのためにも一緒になって彼らを支える力になって下さる方が必要です。一人でも多くの方にご協力いただきたいです。」との思いを語ってくださいました。



←毎回 20 名前後の参加者が
あります。スタッフとして給仕
する方、仲間とお話したい
方、静かにゆっくりしたい方
など、時間の過ごし方は自由。
その時の体調にあわせてお互
いを尊重しあいます。

※おもちゃライブラリー

「障がいのある子ども達におもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを」との願いから始まった全国的なボランティア活動で、奈良県内では奈良カトリック教会で行われていました。

喫茶シャローム

毎週金曜日 午後4時～8時

奈良市総合福祉センター 2階 視聴覚室

(奈良市左京5丁目3-1)



★毎月第4金曜日は「トワイライトコンサート」の日。
社協スタッフとボランティアによる参加型の
元気あふれる楽しいコンサートがあります。

喫茶シャロームのみんなで「春
咲きコンサート」にも出演。
みんなで曲決めをして、さあ
練習だ！ →



創立50周年記念式典

主催：大宮地区社会福祉協議会

昭和38年、大宮地区の社会福祉事業を発展させようと13名の有志が発起人となり大宮地区社会福祉協議会を創立。50年の年月を重ねた今年1月10日に、ホテル日航奈良で50周年記念式典が開催されました。

8代目となる吉岡正志会長のご挨拶には、先人から脈々と受け継がれてきた理念や積み重ねてきた活動への思い、そして持続発展的に福祉活動の新たなステージへと歩んでいこうという決意が込められていました。

また式典の後半では、大宮地区の福祉を支える各種団体からの活動報告もあり、“絆”をキーワードに、「住みよいまちづくり」に向けて協働を進めておられる様子が伺えました。

創立50周年を機に、「人のために何かができる心豊かな人」の具現化に向けて、次の一步を踏み出そうとされています。



『新成人の集い』

主催：奈良市心身障害者・児福祉協会連合会(市障連)

「新成人の集い」は、市障連会員で成人式に出席した方も、障がい特性や体調の加減、医療ケアの必要などから成人式に出席できない方も、今まで育ててくれたご家族と一緒に成人のお祝いしましょうという趣旨で毎年開催されています。

今年は11名(うち10名出席)の方とご家族のお祝いが1月13日(月)総合福祉センターで開催され、市長はじめ市議会議員、教育長、国会議員の方々、卒業した養護学校の先生方や施設等の職員、支援者など多くの方が駆け付けられました。

晴れ着に身を包み、誇らしさと緊張が入り混じる表情の新成人と一生に一度のこの日を迎えて感無量のご様子のご家族。昼食をはさみ、一人ひとりの成長を振り返るスライドショーの上映が行われ、会場は笑いと涙で包まれました。最後に新成人の皆さんが大人としての自覚と決意を力強く述べられ、それぞれのご家族への花束贈呈で締めくくられました。

新成人とご家族の皆様、ご成人おめでとうございます。皆さんの新たな門出に心からお祝いを申し上げます。

ちょっと
知りたい

生活困窮者自立支援法ができました。

平成25年12月13日公布 平成27年4月1日施行

この法律ができた経緯

● 生活困窮者の増加

生活保護の受給者は平成23年7月に戦後最大に達し、その後も増加が続いています。さらに近年では、安定した雇用の減少等により、働く世代にも生活に困窮する人が増えてきています。現在、勤労者のうち年収200万円以下の人は3割近くにのぼり、増加傾向にあるひとり親世帯も、その半数は収入が少なく生活に困窮している状態です。このままでは一人ひとりの自立した生活を支えることができない、そうした背景から、生活困窮者の実情に寄り添った施策が求められるようになったのです。

● 目指す方向

- 自立と尊厳
- つながりの再構築
- 子ども・若者の未来
- 信頼による支え合い



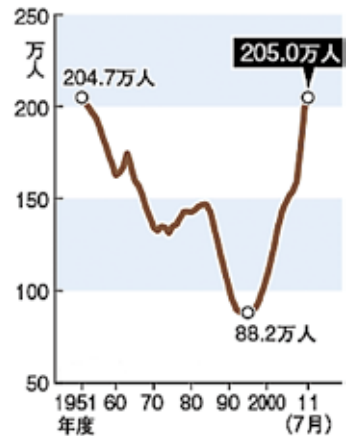
● 法律の概要

- 1 自立相談支援事業及び住宅確保給付金の支給（市町村の必須事業）
- 2 就労準備支援事業、一時生活支援事業及び家計相談支援事業等の実施（市町村の任意事業）
- 3 就労訓練事業の認定

奈良市ではこの法律に先駆けて、平成25年9月から生活困窮者自立促進モデル事業として就労支援事業を行い対象者の状況に合わせた就労自立支援を行なっています。 www.city.nara.lg.jp/www/contents/1357780045917/files/k250826.pdf

生活困窮者自立支援法の目指す方向は、福祉のまちづくりの目指す方向にも通するところがあります。生活困窮者に関する問題は社会全体で取り組むべき課題です。本会も、この動きに合わせて行政や地域住民の皆様と共に考えて参ります。

生活保護受給者数の推移



旗・応援幕・カップ・バッジ
株式会社 **野崎旗店**

TEL.0742-23-1343 FAX.0742-27-3760

E-mail: hata@nozaki.net

HP **野崎旗** で検索!

確定申告・相続

税金各種・相続対策・生前贈与・資金調達・
登記・保険代理業務・金利過払いのご相談など

奈良の地で開業80年の実績。皆様のさまざまな疑問・ご要望に「総合力」で誠実にお応えいたします。

森田務公認会計士事務所 TEL 0742-22-3578
森田功司法書士事務所 FAX 0742-27-1681

医療法人 拓生会

内科（消化器・循環器・呼吸器）、神経内科、外科、整形外科
リハビリテーション科、肛門外科、脳神経外科、皮膚科、放射線科、麻酔科
【その他】人間ドック、特定健診、特定保健指導、一般健診、予防接種



救急労災指定
奈良西部病院

理事長 櫻井 立良

奈良市三碓町2143-1（帝塚山大学 東生駒キャンパス向かい）
TEL 0742-51-8700 <http://www1.kcn.ne.jp/~nk-c-hp/>

診察時間：午前9時～12時まで 午後1時～4時まで
備 考：皮膚科・脳神経外科については診察日が限られています
土曜日は午前中のみです
日・祝日の外来診察は休診です 但し、急患はこの限りにあらず

社会福祉法人・軽費老人ホーム（A型）

おお やまと

大倭滝の峯荘

60歳以上で、日常生活自立又は生活支援を必要とされる方に対して、食事の提供、入浴準備、相談援助等のサービスを提供する施設です。

詳細は随時
お問い合わせ
下さい。 〒631-0045
奈良市千代ヶ丘2丁目3番地の1
TEL 0742-44-2701 FAX0742-44-1390

ボランティア保険のご案内 活動中のもしもの事故に備えて 小さな掛け金で安心を。

ボランティア活動保険

ボランティア活動中や往復途上の偶然な事故・ケガにより、ボランティア自身がケガをした場合の『傷害保険』と、活動中に思いがけない事故により、他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたりして法律上の賠償責任を負った場合の『賠償責任保険』の2つの補償をセットにした『ボランティア活動専門』の保険です。
※自動車による事故は、加入者自身のケガのみが対象となり、対人・対物事故などの賠償責任については対象外です。

補償金額（保険金額） ※は限度額

	Aプラン	Bプラン
死亡・後遺障害保険金	1,200万円*	1,800万円*
入院保険金日額	6,500円	10,000円
通院保険金日額	4,000円	6,000円
賠償責任保険金	5億円*	5億円*

【保険料 年額 1名あたり】

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	300円	450円
天災タイプ	460円	690円



- 補償対象はいずれも日本国内での活動に限ります。
 - 補償期間は平成26年4月1日午前0時から平成27年3月31日午後12時までの1年間です。平成26年4月1日以降に加入された場合は、加入手続きが完了した翌日午前0時から平成27年3月31日午後12時までとなります。(ボランティア活動保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償)
- インターネットでの情報は [「ふくしの保険」](#) で検索。

その他の保険の種類と内容

①ボランティア行事用保険

福祉行事を主催する方が、安心して福祉行事を行うための保険です。バザーやサロン活動・食事会等の行事や、キャンプ・合宿など宿泊を伴う行事が対象です。
※不特定多数を対象とするもの、営利目的のイベントや構成員のみの親睦会は対象外です。

【保険料 日額 1名あたり】

Aプラン (宿泊を伴わない)	A1	28円(最低掛金 560円)	Bプラン (宿泊を伴う)	1泊2日	224円
	A2	126円(最低掛金2,520円)		2泊3日	275円

②福祉サービス総合補償

在宅・地域福祉サービス中における様々な事故を補償します。在宅福祉サービス・地域福祉サービス・ホームヘルプサービス・デイサービス・家事援助サービス・配食・給食サービスなどが対象です。(有償の活動も含む)

【保険料】

Aプラン	延活動従事者数×17円
Bプラン	延活動従事者数×28円
Cプラン	延活動従事者数×42円

③送迎サービス補償

移送・送迎サービス中における、利用者・同乗者等の傷害事故を補償します。

【保険料】

Aプラン (利用者特定方式)	利用者 20円/1日 (最低掛金1,000円)
Bプラン (自動車特定方式)	法定乗車定員1名 1年2,000円

各種保険の加入には、奈良市社会福祉協議会への登録・申込が必要です。詳しくは各窓口までお問い合わせ下さい。

加入受付
窓口

- 奈良市ボランティアセンター TEL 0742-26-2270
- 奈良市社会福祉協議会地域支援課 TEL 0742-93-3294
- 鳥見デイサービスセンター TEL 0742-93-3741
- 月ヶ瀬福祉センター TEL 0743-92-0204
- 都祁福祉センター TEL 0743-82-2624

学校法人青丹学園 厚生労働大臣指定校 奈良県知事認可の専修学校

関西学研医療福祉学院

最短期間でリハビリ・福祉・看護のプロになる!

介護福祉学科(昼2年・40名)

作業療法学科(昼3年・40名)

理学療法学科(昼3年・40名)

言語聴覚学科(昼2年・40名)

看護学科(昼3年・40名)

近鉄「高の原」駅より
徒歩3分



<http://seitan.jp>

関西学研



〒631-0805 奈良市右京1丁目1-5
TEL : 0742-72-0600 FAX : 0742-72-0635

検索
携帯・スマートフォンOK!

福祉車両のレンタカー お気軽にご用命ください

ハイエース 2台
ノア 1台
ワゴンR 1台

社会法人 日本福祉車両未来研究会
Japan wel-car future meeting club
<http://www.294mirai.com/>



奈良市北之庄西町1丁目11-3 TEL : 0742-61-5662 (すぎ)

介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい。

奈良市を中心に、医療、ケアハウス、特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム、在宅サービス等を展開する社会福祉法人です。

らくじ会グループ

社会福祉法人 楽慈会 TEL 0742-25-3550 <http://s-rakuji.com>
株式会社 らくじ TEL 0742-24-4165 [らくじ](#) [検索](#)

らくじ会グループ一覧 **平成26年4月** グループホーム開設

- らくじクリニック 奈良市新南町19-1 TEL 0742-26-4165
- 特別養護老人ホームらくじ苑 奈良市八条5丁目437-11 TEL 0742-30-1800
- ケアハウスらくじ苑 奈良市南京終町13-4 TEL 0742-25-3550
- 介護付有料老人ホームなら白寿苑 奈良市法蓮佐保山1丁目8-30 TEL 0742-24-4165
- 介護付有料老人ホームらくじ苑大和西大寺 奈良市西大寺南町2371-1 TEL 0742-49-4165

お弁当・会席・ケータリング はないちばん



古都の想いを
お届けします。

(株)味の大和路 [0120-871-309](tel:0120-871-309)

奈良県大和郡山市馬司町696 <http://www.hana1.co.jp>

共同募金にたくさんのご協力ありがとうございました!!



共同募金は、寄付された方々の地域で活かされる寄付金です。私たちの身近な暮らしを支える住民福祉活動をはじめ、公的サービスだけでは対応することのできない様々な民間の福祉活動を支援しています。募金をしてくださった方、募金運動にご協力をいただきました関係団体の方々、すべての皆様にお礼申し上げます。

平成 25 年度募金額 (奈良市) 赤い羽根共同募金：19,836,347 円 歳末たすけあい募金：1,453,215 円

共同募金のつかいみちについては、インターネットの“赤い羽根データベース『はねっと』”でご覧いただけます。

はねっと

検索

社会福祉協議会の取り組みが TV ドラマに!

ドラマ10「サイレント・ペア」
(出演 深田恭子他)

「私は、その手を決して離さない」
“孤独”という現代の貧しさに立ち向かう新たなヒロイン誕生

放送予定
4月8日～
NHK総合(全9回)
毎週火曜日
午後10時～10時48分

全国各地の社会福祉協議会に配置されているコミュニティ・ソーシャルワーカーは、支援を必要とする人々に対して、地域とのつながりや人間関係など本人を取り巻く環境を重視した援助を行い、制度の狭間の問題を公民協働で解決する専門職です。

このドラマは奈良市と同じ中核市である豊中市の取り組みを参考に脚本が作られました。

生活に様々な問題を抱えながら誰に相談することも、周囲からの援助も求められず支援に辿り着けない、社会的なつながりの貧しさ「みえない貧困」に、社協のコミュニティ・ソーシャルワーカーであるヒロインが立ち向かいます。

奈良においても他人事ではないテーマです。ぜひ、ご覧ください。

社協会員募集

奈良市民が安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを進めるために、本会は様々なニーズに力添えできるよう日々活動を行っています。

皆様の想いが、住みよい福祉の“まち”を育てます。

社協会員となって、地域福祉活動を支援して下さい! よろしくお願ひ致します。

- ①個人会員
年間1口 1,000 円
- ②施設・団体会員
年間1口 5,000 円
- ③賛助会員(企業等)
年間1口 10,000 円

問合わせ先 総務課 0742-93-3100

編集後記

1月に開催しました「ふれあい宣言タイムマラソン大会」。初めて参加される方もおられる一方で、すっかりお馴染みとなった方も多くおられます。なんと今年で28回目の開催で、それだけ長く続いている大会だと再認識しました。これからも途切れることなく、多くの方に参加していただける大会にしたいと思います。(編集委員Y)

発行：社会福祉法人 奈良市社会福祉協議会
発行責任者：事務局長 近藤 秀雄
奈良市杏町79番地の4
TEL：0742-93-3100 FAX：0742-61-0330
E-mail：hureai@narashi-shakyo.com
URL：http://www.narashi-shakyo.com

奈良市社協

検索

ご高齢の方や、障害をお持ちの方で歩行困難などで治療院に通いづらい方

訪問鍼灸マッサージ ～今お持ちの健康保険証が使える～ 鍼灸・マッサージ
ご自宅まで訪問いたします!



脳疾患の後遺症があるのですが、病状もよくわかってくれる先生で、話もよく聞いてもらっています。

糖尿病で人工透析を受けていますが、訪問マッサージは便利です。透析のスケジュールに合わせてもらいながら、毎週3回お願いしています。

利用者さまのお声

夜中のトイレの介助がなくなり負担が減りました。

わたしは、保険負担1割なので**1回340円～580円**程度です。負担が少なく、しかも家まで来てくれてありがたいです。

ぐっすり眠れるようになりました。

ゆうとぴあグループでは1年間延べ2万人の施術実績

安心と安全と信頼の実績



訪問鍼灸マッサージ 株式会社 **日本在宅サービス**

訪問鍼灸マッサージ ゆうとぴあ
〒631-0041 奈良県奈良市学園大和町2丁目84
TEL/0742-81-3132 FAX/0742-81-3112
HP http://www.nihonzaitaku.com/

無料お試しマッサージのお申込みは
0120-977-207

訪問時間 朝9時～夕方6時

休診日 日曜日・お盆・年末年始